

平成16年度司法試験第二次試験口述試験における問題のテーマについて

口述試験は、一定の法律問題（テーマ）を素材として、法曹となろうとする者に必要な学識及びその応用能力を有するかどうかを口頭表現という形で判定する試験であり、平成16年度においては、以下のテーマを中心として行われた。

なお、試験の際の具体的なやり取りによっては、テーマが変更・追加されたものもある。

試験日\科目	憲 法	民 法	民事訴訟法	刑 法	刑事訴訟法
第1日目 10月23日(土)	強制加入団体と構成員の人権	不動産売買の委任	弁論主義・中絶と受継	不法原因給付と横領、盗品等に関する罪と親族関係	公訴事実の同一性・訴因変更命令
第2日目 10月24日(日)	国家機関における公開原則	法人・共有・組合	必要的共同訴訟・形式的形成訴訟・当事者能力	誤振込と詐欺罪	勾留の要件・ビデオテープ及びメモの証拠能力
第3日目 10月25日(月)	行政権に対する統制	日常家事債務と代理	訴訟代理人・訴えの取下げの合意・文書の真正	早すぎた構成要件の実現	鑑定・訴因変更の要否
第4日目 10月26日(火)	外国人の人権	遺留分減殺請求	養子縁組無効の訴え・推定・釈明・限定承認と既判力	過失による胎児傷害、不作為による殺人	血液の採取・押収拒絶権・求釈明
第5日目 10月27日(水)	行政手続における適正手続の保障	契約の有償性・双務性	形成権の訴訟上の行使・共同訴訟	他人名義口座開設と詐欺、盗品等に関する罪の保護法益	身柄拘束と余罪・共同被告人の審理方法